

豊
中
校
広報

4月1日号
2013

希望ある未来へ強い決意

3月13日、豊間根中学校（高橋 勝 校長、生徒100人）で平成24年度の卒業式が行われました。この日晴れて学び舎を巢立つのは35人。卒業式では卒業生一人一人が高橋校長から卒業証書を受け取り、「入学式で先輩方の合唱を聴き、不安が希望に変わった時のことが今でも忘れられない。中学校生活は人生の中では一瞬だが、仲間と過ごした日々はかけがえのないもの。先生方や周りで支えてくれた方々からの教えを胸に刻み、これからも努力していきます」と佐々木優良くんが答辭を述べました。今年の町内中学校の卒業生は全体で198人（男100人、女98人）。それぞれが希望ある未来へと進んでいきます。

No.
1022

今号の
主な内容

平成25年度施政方針の概要

平成25年度予算の中身

復興ニュース

町のわだい

みんなのスペース

CONTENTS

2~7

8~9

10~11

12

18~19



次世代に「安全で安心なまち」を受け継ぐために

復興ヘスピードアップ

平成25年度の町政の進む方向を決める、第1回町議会定例会が2月14日から3月8日まで開かれ、25年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には佐藤信逸町長が施政方針を読み上げ、本年度の基本方針を述べました。

今号では、施政方針の概要と25年度予算の中身を紹介します。

はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災・大津波の大災害から、はや2年の歳月が経とうとしております。

平成24年度は、復興元年と位置付け「二度と津波による犠牲者を出さない」を復興における大命題に23年12月に策定された山田町復興計画の basic 理念として①津波から命を守るまちづくり②産業の早期復旧と再生・発展③住民が主体となつた地域づくり――を進めてまいりました。昨年12月には、これまでの大好きな課題であった県立山田病院、山田消防署の建設、町営柳沢団地の改修や被災された方々の住

宅再建に対する町独自の支援策などについて、一定の方向性を見出すことができました。

その一方、町が緊急雇用事業を委託したNPO法人の不適正経理問題が発覚し、町民の皆様には多大なるご迷惑やご心配そして不快な思いをお掛けしていることに対しまして、心よりお詫びを申し上げます。

このことについては、町と県による調査はもとより、町議会における調査特別委員会、そして去る1月21日に立ち上げた第三者調査委員会による調査を通じて、全容の解明に努めてまいりたいと考えております。そして、一日も早く復旧・復興に専

心できる環境に戻したいと思っております。

復興事業を推進するため町内全地区で説明会を開催した結果、町民の皆様の意見としては復興事業のスピードアップを求めるものが大半であり、総論として住民合意形成は図られたものと認識しております。

平成25年度の本町当初予算においては、復旧・復興を最優先に効率的な運用と予算配分を行うため、経常的経費の縮減を基本に復興事業の本格実施を目指す予算編成を行いました。その結果、本町の平成25年度一般会計当初予算の総額は、747億8453万2千円となり、前年度の当初予算額と比較して、525億6214万9千円、23.6・5%増で過去最高であつた前年度より更に大規模な予算となりました。

以下、平成25年度の施策について産業別、分野別について述べまいります。

平成25年度 施政方針の概要



山田町復興計画について

復旧・復興事業に総予算の9割

復興事業の町内全地区での住民説明会が一巡しました。これまで行われた住民説明会、生活再建個別面談の結果をもとに、各事業の詳細な実施設計を進め、本格的な工事着手に向けた取り組みを進めます。

また、町の中心となる産業用地を早急に整備し、復興を先導する拠点づくりが必要となりました。昨年12月には「山田地区復興拠点検討会議」を立ち上げ、



魚市場の建設が進む山田漁港

JR陸中山田駅前の商店街形成に関する土地利用計画の検討を進めてきました。今後は、津波復興拠点の機能や施設配置計画について関係機関と連携して、早急に整備が図られるよう進め

農林・水産・商工観光業について 基盤施設の復旧・再生を支援

◆水産業

震災で壊滅的な被害を受けた漁港施設や漁業用施設などは「共同利用漁船等復旧支援対策事業」、「水産業共同利用施設復旧支援事業」、「水産業経営基盤復旧支援事業」により復旧整備の促進を図ります。

水産加工流通施設については「水産業共同利用施設復旧整備事業」により復興支援を進めています。また「漁業復興再生支援事業」を新たに設け、生産や流通加工、販売、衛生管理、環境保全などの小規模復旧整備に対しても支援します。

被災した農用地の復旧については「農用地災害復旧関連区画整理事業」を大浦・大沢地区に導入し、ほ場や用排水路の整備を進めます。

耕作放棄地が増加する状況にあることから、農地の災害復旧事業の周知に努めます。また、町有林については適切な森林整備を推進するため、森林整備加速化・林業再生基金事業により間伐を実施します。

林業については、間伐などの森林施業を促進するため、補助事業の周知に努めます。また、町有林については適切な森林整備を推進するため、森林整備加速化・林業再生基金事業により間伐を実施します。

放射性物質汚染によるシイタケの出荷制限については、県と連携して出荷制限解除に向けた

ていきます。

本町の平成25年度一般会計当初予算では、復旧・復興に向けた予算を大幅に措置しています。その内容は、復興交付金事業が43事業324億1千万円、災害復興関連事業は101事業309億2千万円となつておらず、予算の9割以上を占める事業費を積極的に計上しています。



町議会の様子

平成25年度 施政方針の概要

取り組みを行つていきます。また、放射性セシウムが指標値を超過したホダ木については、適正に処分していきます。

◆商工業

復興計画により土地利用計画が策定されることから、施設の集積などについて関係団体と率直な意見や情報の交換を行います。また「中小企業被災資産復旧事業費補助制度」を継続し、中小企業の復興を支援します。

被災した中小企業については、県中小企業東日本大震災復興資金の利用とその利子補給制度の活用に努めます。また、山田町商工会と協力して復興特区での税制上の特例措置の周知を図ります。また、二重債務問題については、相談窓口である「岩手県産業復興相談支援センター」の利用促進を図るため、その周知に努めます。

仮設店舗は、中小企業基盤整備機構による仮設施設整備事業により、集積したエリアでのにぎわいの創出を図ります。特産品の製造再開を支援するとともに、物産フェアへの参加促進や特産品などの開発・販路拡大への支援に努めます。

◆観光業

観光の振興は、船越家族旅行村周辺での「桜まつり」や「山田湾シーカヤック交流の集い」、



観光客でにぎわった桜まつり

「山田の幸味わい祭り」などを催するほか、ケビンハウスの営業再開やオートキャンプ場のトレーラーハウスでの営業再開など、観光客の受け入れに取り組みます。また「観光案内所充実事業」などで山田町観光協会の雇用環境を整え、誘客体制や事業運営の協力に努めます。

◆雇用対策

就労の場の確保のため情報提供に努めます。また、職業訓練および資格取得を支援するため、宮古職業訓練協会へ助成するとともに「離職者資格取得支援事業」を実施します。企業誘致を進めるため、町工

場誘致条例による固定資産税の減免や利子補給、町企業立地補助金などの企業誘致優遇措置制度を活用し、雇用の場の拡大に努めます。

交通網、住環境、環境保全について

家屋の新築・補修に支援制度

◆交通網

日常生活において重要な役割を果たすJR山田線の復旧については、沿線市町や関係機関と協力しながら国・JRに対して要望します。

三陸沿岸道路は山田・大槌間の工事が着工され、山田・宮古間においても用地交渉が行われるなど、着実に事業が進められています。今後も三陸沿岸道路推進室を中心に、開通に向けて支援します。

生活に必要不可欠な路線バスについては、バス事業者や関係機関と協議を進め、引き続き利便性の向上を図ります。

◆住環境

被災した居住地については、復興計画に基づき「都市再生土地整理事業」や「防災集団移転促進事業」などを活用し、現在の場所でのかさ上げや近隣への高台移転などを進めます。

災害公営住宅は、適地の選定や用地交渉など、県と協議しながら進め、完成した住宅から順次入居を行い、平成27年度までの入居完了を目指します。

家屋を新築・補修する被災者に対しては、「生活再建住宅支援事業」や「被災者住宅再建支援事業」、「被災者再建住居移転事業」により支援します。柳沢北浜地区土地区画整理事業については、復興計画との調整を図りながら細浦柳沢線の道路工事宅地整地工事などを進めます。

平成24年度にスタートした「山田町快適リフオーム支援事業」については、比較的順調に利用されており、引き続き実施します。

水道事業については、震災後の減収対策として本年4月分から水道料金が値上げとなります。が、今後とも経費節減経営の安

また「緊急雇用創出事業」の活用により、各分野で雇用・就業機会の創出と人材育成を図ることも、その適正な事業遂行に努めます。

平成25年度 施政方針の概要



再建が待たれる県立山田病院仮設診療所

国保・介護、生活の安全と安心について 連携を強化し介護基盤を充実

◆國保・介護

め、引き続き特定健診の受診率向上と特定保健指導・事後指導に努めます。

介護サービス基盤の充実については、被災した介護施設の早期復旧整備を促進し、医療機関などとの連携強化など介護サービスの充実が図られるよう第5

期介護保険事業計画を進めます。

- ◆生活の安全と安心
交通安全の確保については、被災した道路状況に応じた安全施設の整備や交通安全教室、飲酒運転根絶などの啓発運動を実施します。
- 地域安全の確保については、地域安全推進連絡協議会を中心と各関係団体と連携しながら、

健康・福祉について

医療機関の開業・再建を支援

◆健康づくり

町民が健康で心豊かな生活を送ることができるよう、疾病や障害の発生を予防する「一次予

防を重点に、生活習慣病予防事業やがん検診などの各種事業を実施します。

◆
福祉

児童福祉については、安心して子育てができるよう保育士ニーズに対応したきめ細やかなサービスを提供します。また、保育士不足の環境を改善するため、保育士を養成するための委

を継続します。

高齢者福祉については、老人クラブとシルバー人材センターへの支援を継続しながら、「生活管理指導員派遣事業」、「見守りネットワーク事業」などの充実に努めます。

定化に努め、安全で安心できる良質な水を提供します。

いた一筆地調査の一部を外注し、事業を進めます。

断している山田処理区の事業認証可区域に織笠地区を加えて事業を再開し、早期の供用開始を目指します。

環境
九

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、放射性物質から町民の健康と安全を守るため、放射線量を測定し、情報提供を行うなどの的確な対策を講じます。

古地域こころのケアセンターと連携して、震災こころの相談室により支援します。

託事業を実施するなど、子育て支援の充実に努めます。また「次世代育成計画」に代わる「子

仮設住宅や各地区で地域安全活動などを実施し、町民一人一人の安全意識を高めるとともに安心して暮らせるまちづくりに努めます。

被災者の生活支援について

被災者の生活支援については、被災者に寄り添った支援を心掛け、義援金の交付や被災者生活再建支援金の申請受付など、必要な対応をします。

仮設住宅などの入居者に対しては、健康相談や栄養相談、健康教室の実施により健康づくりを支援します。また、仮設団地のコミュニティは、身近な交流の場やさまざまな支援の拠点となっていますので、組織づくりとその活動に対する積極的な支援を行います。

生活再建に向けた相談・問い合わせは、今後も県が設置した相談センターおよび町内3カ所のサブセンターと連携し、被災者の生活再建が一日でも早く進むよう、対応していきます。

住宅再建の支援について、町では新たに4つの独自支援制度を創設し、4月1日から受付を開始する予定であり、町内への

町独自に4つの支援制度開始

住宅再建と定住化を促進させることも、本町の復興をより一層推進していきます。

消防・防災対策について

災害に備えて防災倉庫を設置

消防・防災対策の充実については、地域防災計画を改定し、2月4日の防災会議において承認されたところです。今後は震災の反省を踏まえ迅速かつ円滑な応急対策活動ができるよう、

関係機関相互における協力体制の確立を図るとともに、総合防災訓練を実施し、町民一人一人が自らの生命と財産を自分で守ります。

また、屋外拡声子局や通信局設備のデジタル化改修を進めます。また、警報などの発令時に

おける情報伝達手段の一つとして、携帯電話へのエリアメール、

消費者行政については、宮古圏域の市町村で設置する消費生活センターが4月にスタートすることから、消費者の相談・苦情処理体制の確立を目指します。



緊急速報メールの配信による情報提供を行っていきます。
消防団の充実強化に向けては、活動環境の整備に努め、消防団への入団を促進します。また、安全教育や防災教育を実施して団員の安全確保と資質の向上に努めます。
消防団施設および装備の復旧整備は整いつつありますが、消防屯所の本復旧については地域に密着し、より強固な消防体制を確立するため、関係機関と連絡を密にして進めていきます。
震災により居住地が移動したことを探まえ、仮設住宅の火災予防対策を重点項目として、より一層の火災予防思想の普及に努めるとともに消防水利の計画的な整備を図っていきます。

船越小、来年度再開を目指す

◆学校教育

学区外の仮設住宅などに入居した児童・生徒が安全に通学で

スの運行を行います。
被災した船越小学校について
は、一日も早い「学びの場」の
再生に向けて隣接する高台への
移転が進められています。本年
度は校舎や屋内運動場、プール
の建設を進め、平成26年4月の
新校舎での再開を目指し、全力
で取り組んでいきます。

◆生涯教育

「国際交流の推進については、「ジュニア海外派遣事業」で中高生の派遣を引き続き行い、広い視野と柔軟な思考力を持つた人材育成を図ります。

◆ 行財政

既存の自治組織に加え、新たに形成された自治組織の活動を支援するため「住民協働推進支援事業」および「仮設住宅組織育成支援事業」を継続して実施していくきます。

した仕事に就きたいなど多くの
事が聞かれます。

今、まさに復旧・復興が大き
く動く時が来ました。私たちは
次世代に「安全で安心なまち」
を受け継がなくてはなりません。
このためには議員の皆様にも復
旧・復興が一日も早く進むよう
ご理解とご協力をお願ひします。

NPO問題が、復旧・復興の
足かせとなつておりますが、
我々は現在、木を見て森を見ず
の議論ではなく、しつかりと明
日への議論が必要だと思つてお

職員数は、定員適正化計画を推進してきましたが、通常業務と復興業務で増大した事務を着実に進めるため、派遣職員の支援だけでなく、任期付職員の採用など町独自で人員確保をしていきたいと考えています。

また今後、土地の取得に関する事務量が増えることが見込まれているため、新たに「用地課」を設置し、集中的に取り組みたいと考えています。

小異はあつても大同につくこと
とが、山田町の復旧・復興の推進には特に必要と考えます。山田町の復旧・復興は山田町民でしか達成できないのであります。町民が一丸となって千年に一度の大災害に立ち向かっていこうではありませんか。そのことが、国内外から寄せられた多くの皆さんの善意に応えるものと信じております。

以上、平成25年度における主要な施策について申し述べてまいりました。冒頭申し上げましたように、東日本大震災・大津波により多くの尊い生命、貴重な財産を失つてから2年になります。

私も、この難民

昨年7月17日の初登庁以来、ここまでやつてこられたのは、町民の皆様のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。山田町には多くの難問が山積しております。中でも一日も早く

私も、この難局を開拓するため全力を傾注することをお誓いするものであります。改めて、町民並びに議員の皆様の町政に対するご理解、ご協力をお願いして施政方針とさせていただきます。



児童ののびのび教室事業でのこども教室の様子

また、平成28年に第71回国民体育大会高校軟式野球競技が本町で開催されることから「国体準備室」を設置し、円滑な運営に向けた取り組みを進

平成25年度予算の中身

税務課

◆土地評価更新業務委託料	222万円
◆標準宅地鑑定評価委託料	616万円
◆住民税等申告支援システムリース料	179万円
◆納税通知書作成業務委託料	211万円

健康福祉課

◆介護雇用プログラム事業委託料(緊急雇用)	2,269万円
◆災害ボランティアセンター等活動推進事業委託料(緊急雇用)	6,170万円
◆高齢者・障がい者等生活支援事業委託料(緊急雇用)	3,551万円
◆重度心身障害者医療費給付費	4,857万円
◆障害者自立支援給付費	2億9,931万円
◆高齢者生活支援事業委託料(緊急雇用)	1,126万円
◆民間保育所運営委託料	3億3,091万円
◆子育て支援事業費	1億369万円
▷障がい児等発達支援事業委託料(緊急雇用)…	3,253万円
▷保育士養成支援委託料(緊急雇用)…	1,351万円
▷延長保育促進事業補助金…	2,530万円
◆予防接種委託料	1,402万円
◆各種検診委託料	2,123万円
▷胃がん検診委託料…	483万円
▷乳がん検診委託料…	282万円
▷肝胆腎検診委託料…	416万円
◆新規開業診療所等開業支援補助金	2,000万円



国保介護課

◆地域支え合い体制づくり事業委託料	4,037万円
◆母子家庭等医療費給付費	1,328万円
◆国民健康保険事業	27億1,683万円
国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんができるだけの支え合いの制度です。	
◆後期高齢者医療事業	1億3,258万円
後期高齢者医療制度は75歳以上(重度障害者は65歳以上)の高齢者が、病気になっても安心して医療が受けられる制度です。	
◆県後期高齢者医療広域連合負担金	1億9,930万円
◆介護保険事業	14億1,307万円
歳出総額の95.4%を占める保険給付費は13億4,813万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など各種サービス費用に充てられます。	

消防防災課

◆宮古地区広域行政組合(消防関係 負担金	3億347万円
◆水火災等出動費用弁償	720万円

選挙管理委員会

◆参議院議員選挙費	1,381万円
-----------	---------

水産商工課

◆水産振興費	16億2,882万円
▷共同利用漁船等復旧支援対策事業費補助金…	1億7,778万円
▷水産業共同利用施設復旧支援事業費補助金…	8,000万円
▷水産業経営基盤復旧支援事業費補助金…	2億6,667万円
▷水産業共同利用施設復興整備事業補助金…	9億7,125万円
▷水産業共同利用施設復興整備事業(設備等)補助金…	7,000万円
◆商工業振興費	2億1,827万円
▷仮設店舗等環境整備事業委託料(緊急雇用)…	1,544万円
▷空き店舗等賑わい創出事業委託料(緊急雇用)…	1,005万円
▷中小企業災害復旧資金融資利子補給補助金…	3,566万円
▷中小企業被災資産復旧事業補助金…	1億万円
◆旅行村管理費	1,913万円

建設課

◆道路維持費	5,160万円
◆土地区画整理費	42億3,251万円
▷山田地区都市再生区画整理事業施行管理委託料など	
◆住宅支援費	4億9,515万円
◆防災集団移転費	158億8,516万円
▷防災集団移転促進事業施行管理委託料など	
◆津波復興拠点整備費	14億5,924万円
▷山田地区津波復興拠点整備事業施行管理委託料など	
◆災害公営住宅整備費	7億1,644万円
▷災害復興公営住宅整備事業施行管理委託料など	

農林課

◆農業生産体系確立事業委託料(緊急雇用)	1,159万円
◆町有林間伐委託料	2,300万円
(森林整備加速化・林業再生基金事業)	
◆農用地災害復旧関連区画整理事業負担金	3,467万円
◆中山間地域総合整備事業負担金	5,205万円

教育委員会

◆小学校管理費	1億3,233万円
▷児童通学輸送委託料125万円	▷教育用パソコン保守委託料410万円
▷スクールバス運行委託料294万円	が計上されています。
◆中学校管理費	6,210万円
▷スクールバス運行委託料1,135万円	などが計上されています。
◆公立学校施設災害復旧費	11億6,367万円
◆公立社会教育施設災害復旧費	12億5,140万円

一般会計

平成25年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ747億8,453万円。前年度当初予算と比べて236.5%の増となり、大規模予算となりました。

歳入の自主財源は、一般会計や特別会計、基金の間で現金を移動する繰入金の増により1,178.2%の大幅増。依存財源も国庫支出金の増加などにより128.9%の増となりました。歳出は、復旧・復興関連事業などにより土木費、農林水産業費、災害復旧費、衛生費が大幅な増となりました。

町では、復旧・復興事業を最優先に、第8次山田町総合発展計画・後期計画の実現や町勢に求められる課題解決に向けて堅実な財政運営に努めます。

■歳入の状況

(単位：万円、%)

歳 入				
区分		予算額	構成比	伸び率
自 主 財 源	町 税	77,321	1.0	20.1
	分担金・負担金	5,197	0.1	△7.5
	使用料・手数料	3,866	0.1	6.3
	財 産 収 入	1,779	0	36.5
	寄 附 金	0	0	△100.0
	繰 入 金	2,814,131	37.6	2099.8
	繰 越 金	10	0	0.0
	諸 収 入	10,329	0.1	157.2
計		2,912,633	38.9	1178.2
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	5,990	0.1	△11.0
	地 方 交 付 税	1,266,679	16.9	143.2
	国 庫 支 出 金	2,811,060	37.6	159.7
	県 支 出 金	395,051	5.3	24.4
	町 債	72,420	1.0	42.5
	そ の 他	14,620	0.2	△8.3
	計	4,565,820	61.1	128.9
	合 計	7,478,453	100.0	236.5

■歳出の状況

(単位：万円、%)

歳 出				
区分		予算額	構成比	伸び率
議 会 費	10,218	0.1	1.5	
総 務 費	137,480	1.8	△50.9	
民 生 費	389,119	5.2	49.0	
衛 生 費	2,785,436	37.2	187.5	
労 働 費	123	0.0	0.5	
農 林 水 産 業 費	465,067	6.2	275.4	
商 工 費	28,902	0.4	38.4	
土 木 費	2,921,369	39.1	1458.9	
消 防 費	33,766	0.5	△0.7	
教 育 費	65,568	0.9	△3.7	
災 害 復 旧 費	544,847	7.3	227.2	
公 債 費	95,058	1.3	△5.1	
予 備 費 ・ そ の 他	1,500	0.0	50.0	
合 計	7,478,453	100.0	236.5	

町の全会計

町の平成25年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は798億6,835万円です。

ここでは、本年度行われる主な事業を担当課ごとに紹介します。

◆平成25年度各会計の予算額

- ・一般会計 747億8,453万円
- ・国民健康保険特別会計 27億1,683万円
- ・後期高齢者医療特別会計 1億3,258万円
- ・介護保険特別会計(事業勘定) 14億1,307万円
- ・介護保険特別会計(サービス事業勘定) 313万円
- ・簡易水道事業特別会計 6,286万円
- ・漁業集落排水処理事業特別会計 1億3,118万円
- ・公共下水道事業特別会計 2億3,811万円
- ・水道事業会計 3億8,606万円

*水道事業会計には、収益的支出予算と資本的支出予算の合計額を掲載しています。

総務課

- ◆長期派遣職員人件費負担金 1億6,475万円
- ◆地上デジタル放送共聴施設改修費補助金 875万円
- ◆防災倉庫整備工事費 196万円
- ◆広報やまだ印刷費 607万円

企画財政課

- ◆宮古地区広域行政組合（総務関係）負担金 1,915万円
- ◆電算管理費 6,069万円
電算事務のアウトソーシングに伴うオープンシステムリース料4,531万円を計上しています。
- ◆住宅用太陽光発電導入促進事業補助金 200万円

復興推進課

- ◆都市防災総合推進事業委託料 5,600万円
- ◆定期路線バス運行委託料 435万円

町民課

- ◆地権者等戸籍データシステム整備業務委託料 8,138万円
- ◆住基連携システム再構築委託料 242万円
- ◆斎場委託料 176万円
- ◆塵芥し尿処理費 2億572万円

上下水道課

- ◆災害復旧事業費 7,687万円
▷山田・織笠地区水管橋復旧工事、山田第1水源地建替工事など
- ◆公共下水道事業 2億3,811万円
快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、山田地区で公共下水道施設整備事業を実施しています。

災害時の連携強化を固く結ぶ

相互応援・福祉協定を締結

町では、東日本大震災を受けて、災害時の救援物資や人的支援などの応急復旧対策を円滑に進めるため相互応援協定締結などを進めています。今号では、3月12日～15日までに行われた災害時の相互応援協定を2件、福祉避難所設置などに関する協定を13件締結したのでお知らせします。

町では、3月14日に

「定」を締結しました。

この協定は、災害が発生した場合に被災した自治体の要請に応え、応急対策および災害復旧対策を円滑に遂行するために定めたものです。主な内容は▼食

- ▼被災者の救出、医療や防疫に必要な資機材・資材物資の提供
- ▼被災者を一時避難させるための施設の提供
- ▼応急復旧に必要な職員の派遣

また、3月12日には、町内の全12介護保険サービス事業者、日本福祉用具供給協会と福祉避難所設置運営などに関する協定を締結しました。

この協定は、災害発生時の要援護者に対する支援体制を確立するものです。内容は、▼福祉避難所の設置運営▼人員協力▼福祉用具などの提供——の3種類で、各事業者の役割に応じて協定を結びました。

協定を結んだ事業者は、▼社会福祉法人正受会▼社会福祉法人親和会▼株式会社メイト▼有限会社ヘルパーはうす▼有限会社すずらん介護事業所▼株式会社ウエルファード▼有限会社介護施設あお空▼医療法人晃生会▼社会福祉法人山田町社会福祉協議会▼有限会社あすなろ▼有限会社山崎タクシー▼特定非営利活動法人石峠宅老所▼社団法人日本福祉用具供給協会——になります。



長野県千曲市との締結式



千葉県香取市との締結式

協定を締結した市はどこにあるの？

千葉県香取市



香取市

長野県千曲市



千曲市

千葉県香取市と
長野県千曲市は、
かつて千葉県山田

町、長野県上山田町として姉妹都市を締結していました。今回

は、この20年以上の長いつながり

により協定を締結。2つの市とは、今後さらに強固な応援体制で結ばれます。



この締結で災害時の福祉の応急体制が充実

大沢保育園落成式



園児らによる八木節の披露

東日本大震災で園舎が半壊した大沢保育園（川端紀子園長・園児31人）の新園舎落成式が3月21日行われました。この新園舎は、台湾赤十字組織とドイツのラインラント・プファルツ州政府の支援により再建。式では、関係者ら71人が出席しました。感謝の気持ちとして園児らが八木節と合唱を披露したほか、台

湾からは弦楽四重奏を披露しました。

台湾赤十字組織常任理事の李鴻鈞氏は「津波の様子をテレビで見て非常に衝撃を受けました。台湾赤十字組織は、台湾の人々に支援を呼びかけ同組織だけで80億円、全体で約200億円が支援として集まりました。

日本と台湾は、特別な感情でつながっています。これからも手を取り合いがんばりましょう」とあいさつをしました。

また、ラインラント・プファルツ州政府のマルギット・ゴットシュタイン氏は「ドイツ人は震災に心を痛めています。大沢保育園を支援できて同州の岩手県が築かれて日々浅いですが、末長く続く関係を築いていきたいです」と話していました。

なお町内では、被災したわかれ保育園（日台きずな保育園）の再建と、豊間根小・山田北小の両放課後児童クラブの建設が台湾赤十字組織の支援により行

表彰を受ける児童



平成24年度児童・生徒表彰

クラブ活動や各種コンクールなどで活躍した児童・生徒をたたえる平成24年度「児童・生徒表彰」が2月24日、町中央公民館大ホールで行われました。表彰（奨励表彰）された方々は次のとおりです。

◆スポーツ活動

【小学生】 ▶ 千代川勇也（大沢小3年）…スポーツフェスティバル2012ちびっこ相撲大会（小学校4年生の部）優勝
【中学生】 ▶ 山田中学校男子駅伝部…盛岡市内一周継走大会第1位、第27回県中学校駅伝競走大会…第3位、第28回東北中学校駅伝競走大会第9位 ▶ 山田中学校柔道部女子…県中学校総合体育大会ベスト8、知事杯争奪岩手県少年柔道大会優勝 ▶ 佐々木聖和（山田中3年）…盛岡市内一周継走大会全体順位個人第1位、中学校通信陸上競技県大会（男子3000㍍）第3位、東北中学校陸上競技大会（同）第5位、都道府県対抗駅伝大会県代表選手 ▶ 山崎翔偉（山田中2年）…県中学校総合体育大会柔道競技（男子個人90㌔級）第2位、県中学校新人大会柔道競技（同）第1位 ▶ 下村竜大（山田中2年）…県中学校新人大会柔道競技（男子個人81㌔級）第1位 ▶ 佐々木拓海（山田中2年）…県中学校総合体育大会相撲競技（個人2年の部）第2位、東北中学校相撲大会（同）第5位、県中学校新人大会相撲競技（同）第3位

◆文化活動

【小学生】 ▶ 鈴木諒太（豊間根小2年）…第56回県統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年）入選 ▶ 大沢小学校児童会…平成24年度県小中学校新聞コンクール（小学校・中学校の部）最優秀賞、毎日新聞社主催「第62回全国小・中学校・P T A新聞コンクール」文部科学大臣賞、朝日新聞社主催「第2回朝日小中学生復興新聞コンクール」優秀賞 ▶ 松葉理桜（山田北小4年）…第60回統計グラフ全国コンクール第2部（小学校3・4年）佳作 ▶ 山根颯龍（大浦小1年）…第60回統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年）佳作 ▶ 佐々木俊太朗（大浦小1年）…第

60回統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年）佳作 ▶ 柴田帆乃湖（大浦小1年）…第60回統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年）佳作 ▶ 芳賀晴奈（大浦小1年）…第60回統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年）佳作 ▶ 山崎なな（大浦小1年）…第60回統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年）佳作 ▶ 佐々木夏希（大浦小4年）…第29回岩手県海の子絵画展（小学生の部）岩手県漁連代表理事長賞

【中学生】 ▶ 佐藤優佳（豊間根中3年）…平成24年度中学生の税についての作文岩手県納稅貯蓄組合連合会会長賞 ▶ 山田中学校新聞委員会…朝日新聞社主催「第2回朝日小中学生復興新聞コンクール」朝日新聞社賞 ▶ 佐藤明恵（山田中3年）…第56回 J A 共済組合児童生徒作品コンクール県大会（作文の部）全共連岩手県本部長賞

【高校生】 ▶ 山田高等学校放送委員会…第35回県高等学校総合文化祭放送部門兼第59回 N H K 杯全国高校放送コンテスト県大会（ラジオドキュメント部門）優秀賞 ▶ 宮古商業高等学校商業研究グループ…平成24年度全国高等学校生徒商業研究発表大会優良賞 ▶ 宮古工業高等学校津波模型班…平成24年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」ぼうさい大賞 ▶ 宮古工業高等学校…第20回全国高等学校ロボット競技大会全国大会出場

《敬省略、学校・学年は平成24年度当時》
※体育協会表彰は3月29日発行の体協だよりに掲載されています。



今月の題字
佐藤 瑠美さん
(山田北小1年)

田 の カ だ い

箏曲家の黒沢さんが南小で公演 児童らを魅了する和の響き

3月7日、盛岡市出身でニューヨーク在住の箏曲家・黒沢有美さんが山田南小学校（佐賀敏子校長、児童228人）でコンサートを行いました。東日本大震災で伯母夫婦を亡くし、その追悼の意味も込めて演奏したという黒沢さん。二十絃箏から奏でられた音色はインドの打楽器「タブラ」の音色と混ざり合い、会場は和の響きと異国情緒漂うリズムが織りなす不思議な世界へと変わります。児童らは、初めて体験する繊細な音楽に魅了され、真剣な表情で聴き入っていました。



山田町犠牲者二周年追悼式 ご冥福を祈り復興を誓う

東日本大震災から2年となる3月11日、町中央公民館大ホールにおいて「東日本大震災・大津波 山田町犠牲者二周年追悼式」が執り行われました。式には、遺族や来賓ら約380人が出席し、震災が発生した午後2時46分に合わせて黙とう。佐藤町長による式辞、来賓による追悼の辞に続き、遺族を代表して菊地幸子さんが「犠牲者の無念を思うと、この震災を風化させてはならないと強く思います。復興にはたくさんの時間がかかると思いますが、どうぞ安らかに眠りください」と別れの言葉を述べました。式の最後は遺族や来賓、一般参列者らによる献花を行い、震災二周年の節目に犠牲者の冥福と復興の誓いを新たにしていました。

大人も子どもも夢中になって ガンプラ作って世代間交流

夢中でガンダムのプラモデルを組む子どもと、思い出話に華を咲かせる保護者たち——。2月24日に保健センターで行われた「ガンプラをつくろう！」では、子どもと保護者ら約20人が集まり、1979年から放映された大ヒットアニメ「機動戦士ガンダム」のプラモデルを組み立てました。これは、みえ災害ボランティア支援センターが大人も子どもも一緒に楽しめるイベントとして企画したものです。参加した子どもらはプラモデルを前に目を輝かせて組み立てる一方、保護者らは懐かしいガンダムの話題で盛り上がり、子どもにアドバイスをしたりと、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。



副町長に佐藤氏を選任

人権擁護委員に佐々木さんを再任

4月1日付町職員の人事異動

4月1日から、建設課の国土調査業務のほか、用地に関する復興事業を行うため用地課が新設されました。

◆総務課 ▷ 総務課主幹・情報チームリーダー兼危機管理室長（同課復興支援事業主幹）倉本收郎▷課長補佐兼行政チームリーダー（選挙管理委員会事務局次長）野口伸▷選挙管理委員会事務局次長（国保介護課主任）後藤茂典◆企画財政課

▷課長補佐・政策推進チームリーダー兼政策推進係長兼任民協働推進係長（同課財政係長）柏谷訓正▷課長補佐・財政係長兼管財係長（同課課長補佐）武藤嘉宜▷入札管理室長補佐（同課入札管理係長）佐々木克博▷主任（健康福祉課主任）佐藤誠也▷主事（総務課主事）道又城◆復興推進課

▷課長補佐兼被災者支援チームリーダー兼被災者支援係長（国保介護課課長補佐）松崎由美子▷被災者情報係長（町民課主任）佐々木由美子◆税務課

▷会計管理者・税務課長兼収納対策室長（水産商工課長）伊藤勝幸▷課長補佐兼資産税係長（同課課長補佐）岡市善敏▷課長補佐兼納対策室長補佐（同課課長補佐）川石昭人▷町民税係長（同課主任）橋端敏明▷主事（水産商工課主任）赤崎友康◆農林課

▷林業振興係長（上下水道課下水道庶務係長）小林大司◆水産商工課

▷課長（同課課長補佐）甲斐谷芳一▷課長補佐・水産チームリーダー兼水産振興係長（健康福祉課高齢者福祉係長）佐々木幸博◆町民課

▷課長（企画財政課課長補佐）佐藤克典▷課長補佐兼環境衛生係長兼地域安全係長（同課課長補佐）中屋佳信▷主任（国保介護課主任）五十嵐亮◆国保介護課

▷課長兼地域包括支援センターチームリーダー（学校教育課教育次）菊池利博▷課長補佐兼介護チームリーダー兼介護保険係長（税務課収納係長）川村聰▷主事（企画財政課主任）小成渉◆健康福祉課

▷課長補佐兼健康チームリーダー兼健康管理係長兼地域医療推進室長（学校教育課課長補佐）古館隆▷高齢者福祉係長（監査委員室室長補佐）福士雅子▷主事（国保介護課主事）昆美穂◆船越保育園

▷主任栄養士（大浦保育園栄養士）小原美智子◆建設課

▷課長補佐兼土木チームリーダー兼三陸沿岸道路推進室長補佐（税務課資産税係長）鳥居義光◆用地課

▷課長（建設課課長補佐）花坂惣二▷課長補佐兼用地チームリーダー兼管理係長（建設課国土調査係長）川口徹也▷国土調査係長（議会事務局書記）佐々木宣男▷用地係長（企画財政課主任）佐々木和哉▷主事（建設課主任）加藤周平▷主事（企画財政課主任）佐藤肇▷主事補（建設課主事補）及川智弘◆上下水道課

▷課長補佐兼下水道チームリーダー兼整備係長兼下水道庶務係長（同課課長補佐）佐々木達彦◆議会事務局

▷主事・監査委員室書記併任（復興推進課主事）角田廉子◆監査委員室

▷室長補佐・議会事務局書記併任（復興推進課被災者情報係長）佐々木満◆農業委員会事務局

▷次長（総務課危機管理室長）白土靖行◆学校教育課

▷教育次長・学校教育課長（総務課課長補佐）佐々木真悟▷課長補佐兼学校教育チームリーダー兼総務係長（施設係長）芳賀道行▷施設係長（復興推進課被災者支援係長）田畠作典▷主事（国保介護課主任）阿部寛子◆生涯学習課

▷課長兼中央公民館長兼町立図書館長兼国体準備室長（健康福祉課課長補佐）澤木次博▷課長補佐兼社会教育係長兼国体準備室長補佐（同課課長補佐）木村庸助▷国体準備係長（健康福祉課健康管理係長）芳賀善一▷文化係長（同課主任）川向聖子

◆消防防災課

▷課長・白鳥定良▷課長補佐・上沢隆▷消防係長・里館郁雄▷防災第一係長・佐藤正彦▷防災第三係長・吉田直祈▷防災第四係長・笹原正▷主査・佐々木匠▷主任・立花孝広▷主任・堀内達也▷主任・福士尚一▷主事・芳賀博史

◆新採用

▷総務課主事補・松館怜▷復興推進課主事補・高橋愛▷水産商工課主事補・田村龍司▷町民課主事補・中村剛士▷国保介護課主事補・沼崎文洋▷国保介護課主事補・佐藤裕史▷建設課主事補・平澤宏昂▷建設課主事補・川村啓喬▷上下水道課主事補・芳賀勉

◆退職《3月31日付》

▷税務課会計管理者・佐藤正彦▷町民課長・閑清貴▷生涯学習課長・菊地光明▷農業委員会事務局次長・福士永輝▷農林課林業振興係長・芳賀昭義▷町民課地域安全係長・武藤圓悦▷生涯学習課社会教育係長・伊藤多喜夫▷国保介護課・中村剛▷企画財政課管財係長・斎藤洋一▷船越保育園栄養副主幹・甲斐谷和子▷消防防災課防災第三係長（併任解除）・榎原亮▷消防防災課主任（併任解除）・高橋晃



山田町副町長

佐 藤 聰
あきら

【略歴】専修大学経済学部卒。昭和63年岩手県庁職員。平成22年県北広域振興局を経て、24年商工労働観光部。47歳。奥州市出身。

2月14日に開かれた第1回町議会臨時会で、副町長に佐藤聰氏(47)を選任することが同意されました。任期は、2月15日から4年間です。



人権擁護委員
まさ ひろ
佐々木正弘さん

佐々木正弘さん (70)
=豊間根=が、このほど人権擁護委員に再任され、法務大臣から4月1日付で委嘱されました。任期は向こう3年間です。本町では、佐々木さんのほかに4人が人権擁護委員に委託されています。

◆本町の人権擁護委員

〈敬称略〉

▷佐々木正弘▷貫洞征功▷狩野眞理子▷菊地久美子▷

佐々木實

◆問い合わせ 町町民

課生活安全チーム (☎
82-3111 内線125、
126) へどうぞ。

まちづくり出前講座

どうぞご利用ください



県立山田高校で行われた出前講座

◆担当課と講座のテーマ例

担当課	テーマの例
総務課	町の行政組織、防災、行政改革、情報公開、個人情報保護、統計など
企画財政課	町の財政、発展計画、住民協働など
復興推進課	復興計画、生活再建に関することなど
税務課	税の役割、町税のしくみなど
農林課	農林業の現状、特用林産物など
水産商工課	漁業・商工業の現状、観光など
町民課	環境問題、ごみの分別とリサイクル、地域安全(防犯、暴力追放)、年金など
国保介護課	国民健康保険・介護保険の仕組みなど
健康福祉課	高齢者・障がい者福祉、健康相談など
建設課	土地区画整理事業、道路整備事業など
用地課	国土調査など
上下水道課	水道施設の概要、下水道事業など
消防防災課	救急講習会、消火器の取り扱いなど
議会事務局	町議会の役割と活動内容
選挙管理委員会事務局	選挙の仕組み、選挙制度など
監査委員事務局	監査委員の役割と活動内容
農業委員会事務局	農業委員会の役割と活動内容
学校教育課	学校教育、日蘭交流など
生涯学習課	町の史跡や歴史、各種スポーツ講座、同世代交流講座、世代間交流講座など

町では、町職員による「まちづくり出前講座」を実施しています。同講座は、町で行うさまざまな制度や政策について町民の皆さんに情報を提供し、広く町政に関する理解を深めて、住民協働を推進することを目的としたものです。町内の団体やグループなどであ

ばどなたでも開催することができ、講座の内容は受講する皆さんのご要望に応じて、各担当課の職員が説明にお伺いします。なお、この講座は皆さんの相談や要望などをお聞きするものではありませんのでご理解をお願いします。

△開催時間
▼平日：午前10時

※会場の確保や開催告知など、講座を行うための準備は主催者側で行ってください。
◆申込先・問い合わせ
△申込方法
△開催場所

▽開催場所
事業所の会議室、学校など
(個人のお宅では行いません)
▽開催時間
午後9時 ▼土・日曜日、祝
日：午前10時 ▽午後4時
※開催時間は講座1回につき原則2時間以内としてください。

◆対象となる事業内容の例

項目	対象事業および事業内容の例
地域づくり	地域づくり計画の策定・周知、地域ワークショップの開催、地域性を生かしたイベントの開催など
地域福祉	各種健康づくり運動、世代間交流活動、地元食材を使用した料理教室など
環境衛生	ごみ減量化と適正分別への取り組み、ごみステーションの適正管理、廃棄物の不法投棄監視活動、買い物袋持参運動など
生涯学習・生涯スポーツ	お祭り・盆踊り大会の開催、地域リーダー研修会への派遣など
防災・安全	地域で独自に行う避難訓練、防災資器材の整備、道路の草刈りや除雪、登下校時間帯の地域内の見回りなど
産業振興	地場産品の消費拡大や生産意欲の向上に関する取り組みなど

◆申請先・問い合わせ 町企画財政課住民協働推進係(☎82-3111内線426) へどうぞ。

住民協働推進支援事業

自治会などの活動に補助金を交付します

町では自治会などの活動に対し補助金を交付します。本年度(4月1日～来年3月31日)に行われる事業の申請の受け付けを5月10日まで行いますので、補助金の交付を希望する団体は期日までに申請書を提出してください。

△対象団体 自治会、コミュニティー、自主防災組織、NPOなど(産業団体など営利法人は対象外です)

△補助内容 審査委員会により事業内容などが審査され、認められた費用の5分の4以内の額が交付されます。なお、新規に設立された団体については、初回の申請に限り認められた費用の全額を交付します。

※補助金は団体ごとに交付されますが、年間で1団体に交付できる金額の総額には上限があります。対象世帯数により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

固定資産税

平成25年度の固定資産税の課税を免除する対象区域を左表のとおり指定しました。これは、平成23年度の固定資産税が課税免除と

なつた被災区域内の土地、家屋のうち、依然として未修繕の土地や家屋、復旧が進んでいない区域を対象に課税免除するものです。

する方には納税通知書を4月上旬に送付しますので、期限まで
の納付をお願いします。

また、所有する資産がすべて
課税免除となつた方には、納税
通知書は送付しませんので、ご

地区	住所地番内の全区域が課税免除	住所地番内の一部区域が課税免除
境田町	2番、4番～8番、10番～14番	1番、3番、9番、15番～21番、23番～24番
川向町	2番、4番、8～11番、13番～15番、18番～21番	1番、3番、5番～7番、12番、16番～17番
中央町	3番～4番、7番～10番、12番、14番～16番	1番～2番、5番～6番、11番、13番
八幡町	6番、9番、11番	1番～2番、4番～5番、7番～8番、10番、12番
後楽町	—	1番～2番、4番、7番
北浜町	1番～2番、5番～7番、9番～13番	3番～4番、8番、14番
飯岡	—	第1地割～第2地割
長崎	—	一丁目～四丁目
山田	—	第1地割～第5地割、第9地割～第14地割
船越	—	第3地割～第16地割、第18地割～第23地割
織笠	—	第1地割～第3地割、第6地割～第9地割、第11地割～第14地割
大沢	—	第1地割～第3地割、第5地割～第13地割

◆ **問い合わせ** 町税務課資産係（☎ 821-3111内線113、114）へどうぞ。

▽ 縦覧場所 町税務課

▽ 縦覧できる人 納税義務者、納税管理人、代理人など

※ 転免許証や保険証など、本人の確認ができるものをお持ちください。代理人の場合は委任状が必要です。

△ 縦覧期間 4月1日～4月30日（土・日曜日、祝日は除く）

△ 縦覧時間 午前8時半～午後5時半

ため、縦覧帳簿によりほかの固定資産の価格や面積などをご覧いただける制度です。ただし所有者や課税内容は非公開です。

■固定資産税の総覧

▼納期限　▼第1期：4月30日
▼第2期：7月31日　▼第3期
⋮ 12月2日　▼第4期：来年1月31日

山田町社協復興支え愛センター ボランティアを募集しています！



山田町社協復興支
え愛センターでは、
配食サービスのボラ
ンティアスタッフを
募集しています。

ボランティアに興味がある方はお気軽に申し込みください。
▷ 内容 65歳以上の一人暮らしや高齢者世帯などで、調理が困難な方に週一回お弁当を配達しながら安否確認を行います



- ▷ 活動場所 大浦・船越・間木戸・山の内地区
- ▷ 活動日 火・水・木曜日
- ※週1日のみの活動も可能です。
- ▷ 申し込み方法 直接電話で希望日などを伝えください。
- ◆**申込先・問い合わせ 山田町社協復興支え愛センター（☎77-3262）** へどうぞ。

第15回岩手県障がい者スポーツ大会 参加者を募集します

第15回岩手県障がい者スポーツ大会が盛岡市で行われます。参加を希望する方・団体は、奮ってお申し込みください。

▽大会期日 6月1日(土)
▽競技内容 ▼陸上競技▼
アーチエリーカンパニー競技▼卓球
競技▼サウンドテーブル

テニス▼水泳競技▼フランク・ボウリ

◆申込期限 4月16日
▽申込期限 4月16日

町健康
82-3

82
— 3

被災家屋基礎撤去 申請5月30日まで

町では、東日本大震災で被災した損壊家屋などの基礎撤去の申し込みを受け付けています。基礎撤去を希望する人で、まだ申し込みをしていない方は、忘れずにお申し込みください。

なお、期限までに申し込みせずに基礎撤去を行う場合、撤去費用が自己負担となる場合がありますのでご注意ください。

▷ 対象地区 ▶ 大沢▶山田▶織笠▶船越——地区的被災した損壊家屋など

▷ 申し込み方法 町建設課に備え付けの申出書、土地所有者の同意書に必要事項を記入し提出（印鑑が必要です）

※申出書、土地所有者の同意書の様式については、町ホームページ (<http://www.town.yamada.iwate.jp/>) でもダウンロードできます。

▷ 申込期限 5月30日

◆**申込先・問い合わせ** 町建設課都市整備第1チーム（内線242、243）へどうぞ。

遠野実習場で受講 職業訓練生を募集

▷ 募集科 住宅建築施工科

▷ 募集人数 15人

▷ 訓練期間 5月22日～11月13日

▷ 訓練場所 ポリテクセンター岩手・遠野実習場（遠野市青笹町中沢8-1-8）

▷ 受講要件 ハローワークに休職の申し込みを行っている人

▷ 受講料 無料（ただしテキスト代は自己負担）

▷ 申込期間 4月3日～4月25日

▷ 申込先 ハローワーク宮古（☎63-8609）

※申込方法など詳しいことはお問い合わせください。

◆**問い合わせ** 岩手職業能力開発促進センター遠野実習場（☎0198-63-1411）へ。

保健センター機能 回復訓練室を開放

保健センターの機能回復訓練室の一般利用を再開します。ご利用の方は直接お越しください。

▷ 利用開始日 4月1日（月）
▷ 利用時間 ▶ 日・月曜日および祝日…午前9時～午後5時
▶ 火～土曜日…午前9時～午後9時

※年末年始、孟蘭盆、山田祭の期間と、祝日が月曜日と重なる場合は休館となります。

▷ 場所 保健センター1階機能回復訓練室

▷ 利用申し込み方法 ▶ 平日の日中（午前9時～午後5時）…社会福祉協議会事務室窓口（保健センター1階）で申し込み▶土・日曜日、祝日および夜間（午後5時～9時）…機能回復訓練室に常駐する管理者に申し込み

◆**問い合わせ** 町健康福祉課健康管理係（内線142）へ。

三浦医院前線で 時間帯通行止め



町道三浦医院前線の一部区間ににおいて、道路舗装工事に伴う時間帯通行止めを行います。地域の皆さんにはご不便をお掛けしますが、う回路をご利用ください。

▷ 期間 4月1日～9日

▷ 通行止め時間 午前8時半～午後5時

▷ 場所 町道三浦医院前線の一部区間

◆**問い合わせ** 町建設課都市整備第1チーム（内線243）へ。

被災者の医療費負担および 介護保険サービス利用者負担の免除について

国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険の加入者で、東日本大震災により被災し一定の要件に該当する方についての医療費窓口負担およびサービス利用者負担の免除措置が、ことし12月31日まで延長されました。

この制度は、震災により住家が全半壊・全半焼の被災をしたか、主たる生計維持者が▶死亡・行方不明または重篤な傷病を負った▶業務を廃止・休止した▶失職し収入がない——などの場合に、医療機関や介護サービス事業所に「免除証明書」または「免除認定決定通知書」を提示することにより窓口負担などを免除するものです。免除期間は3月31日までとされていましたが、延長によりことし12月31日までとなりました。

新しい免除証明書または免除認定決定通知書は、対象者に送付しますので4月1日以降は新しい証明書または通知書を医療機関、介護サービス事業所に提示してください。

※これまで窓口などに提示していた免除証明書または免除認定決定通知書は、4月1日以降使用できませんので、ご注意ください。

なお、4月1日以降、国民健康保険に加入する方、介護サービス利用を開始する方は申請が必要になりますので、町国保介護課へお問い合わせください。

◆**問い合わせ** 町国保介護課（☎82-3111【国保・後期高齢係】内線131、【介護保険係】内線135）へ。

免除期間が 12月31日まで延長

震災により被害のあった事業者を支援

被災資産新築・購入費を補助します

県と町では、東日本大震災により被災した地域の経済復興と雇用の回復のため、被災した町内中小企業の店舗・工場などの復旧経費を補助します。

▷ 補助対象事業者 東日本大震災により事業用資産が被災し、町内で事業を再開しようとする中小企業者

※個人事業主は、町内に住所を有する方に限ります。

▷ 補助対象経費 被災した事業用資産のうち、事業再開のために不可欠な建物、設備、構築物、機械および装置の新築・購入に要する費用の合計が100万円以上の場合

※機械および装置には一部対象とならないものがあります。

▷ 補助率 補助対象経費の2分の1以内

▷ 補助限度額 2,000万円

▷ 雇用要件 事業を再開した年度から3年以内に従事者数を回復することが要件です。

※従事者には、経営者等を含みます。

▷ 対象期間 昨年3月11日以降に実施した事業に遡及して適用できます。

◆**申込先・問い合わせ** 町水産商工課商工労働係（☎82-3111内線223、224）へどうぞ。

おしゃせ



まちで出会ったかわいい笑顔

家畜を飼育する方 定期報告の提出を

家畜を所有する方には、飼養状況を毎年報告することが義務付けられています。平成25年分の報告がお済みでない方は、忘れずに提出してください。なお、ペットでニワトリを飼っている方にも報告の義務があります。

▷ 家畜の種類と報告期限 ▶ ウシ、めん羊、ヤギ、ブタ、ウマ…4月15日 ▶ ニワトリ、アヒル、ウズラ、キジ、七面鳥 … 6月15日

▷ 報告内容 家畜保健衛生所から送付された様式をコピーし、2月1日時点の飼養状況を記入して提出

※家畜の種類や頭数により提出様式が異なります。

◆提出先・問い合わせ 中央家畜保健所（☎019-688-4111）または町農林課農業振興係（内線211）へどうぞ。

移動図書館の運行 日時を変更します

◎移動図書館の運行日時変更

▷ 運行日時と訪問仮設住宅 ▶ 每月第2・第4土曜日…浦の浜仮設住宅（午前10時半～11時半）、市民グランド仮設住宅（午後0時半～1時半）、猿神農業担い手センター第1・第2仮設住宅（午後1時45分～2時45分）、下水道処理場予定地仮設住宅（午後3時15分～4時15分）▶毎月第2・第4日曜日…石崎橋仮設住宅・エフビー向い仮設住宅（午前10時半～11時半）、浜川目仮設住宅（午後0時半～1時半）、南小校庭仮設住宅（午後2時～2時45分）、大浦小第1仮設住宅（午後3時15分～午後4時15分）

◆問い合わせ 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（☎0198-60-1286）へ。

ケビンハウスの 営業再開します

4月1日に船越家族旅行村ケビンハウスの営業を再開します。

▷ 施設利用料 1泊9,970円（4人までの宿泊が可能です）

※宿泊人数の超過料金については、1人増えるごとに1泊1,020円掛ります。（小学生以上最大2人まで）

▷ 暖房使用料 1泊230円／棟

◆申込先・問い合わせ 船越家族旅行村オートキャンプ場管理棟（☎84-3755）へどうぞ。

子どもまちづくり サミット参加募集

◎第4回東北子どもまちづくりサミット参加者募集

▷ 日時 5月5日（土） 午前10時～午後3時

▷ 場所 仙台国際センター

▷ 対象 小学5年生以上高校生以下の子ども、子どもまちづくりクラブの活動に興味のある人（希望多數の場合は抽選）

▷ 内容 活動報告、意見交換

▷ 参加料 無料

▷ 申込期限 4月17日

◆申込先・問い合わせ セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（☎090-2636-3227）へ。

国税専門官の採用 試験を実施します

◎国税専門官採用試験（大学卒業程度）

▷ 1次試験日 6月9日（日）

▷ 応募要件 昭和58年4月2日から平成4年4月1日に生まれた人か、平成4年4月2日以降に生まれ大学を卒業（来年3月卒業見込み含む）または人事院が同等の資格があると認めた人

▷ 申込期限 ▶ インターネット…4月1日～11日 ▶ 郵送・持参…4月1日～2日

◆申込先・問い合わせ 仙台国税局人事第二課（☎022-263-1111内線3236）へどうぞ。

男性を対象とした 料理講座開きます

第18回「男の料理講座」を開催します。参加を希望する方は、電話またはEメール（odenseyamada@gmail.com）で申し込むか、町内各仮設住宅掲示板に備え付けのはがきに必要事項を記入して郵送してください。

▷ 日時 4月20日（土） 午前10時半～午後1時半

▷ 場所 町中央コミュニティセンター第2研修室

▷ 相談内容 国や県、市町村の仕事で納得できないことなど

◆問い合わせ 町町民課生活安全部（内線126）へ。

◎あすからのくらし相談会

▷ 日時 4月11日（木） 午前10時～正午

▷ 場所 町中央コミュニティセンター集会室

▷ 相談内容 くらし、仕事、日常生活での悩みに関するこ

▷ 電話相談 月～金曜日の午前10時～午後5時

◆相談先・問い合わせ あすかのくらし相談室・宮古（☎64-2400）へどうぞ。

◎被災ローン減免制度（個人版私的整理ガイドライン）無料相談会

▷ 日時 4月21日（日） 午後1時半～3時半

▷ 場所 宮古地区合同庁舎（宮古市五月町）

▷ 相談内容 私的整理ガイドライン制度（被災ローン減免制度）の説明と個別相談

※個別相談希望の方は4月19日までにお申し込みください。

◆相談先・問い合わせ 個人版私的整理ガイドライン運営委員会岩手支部（☎019-606-3622）へどうぞ。

◎自殺関連こころの相談

▷ 日時 4月11日（木） 午前10時～正午

▷ 場所 宮古地区合同庁舎1階相談室（宮古市五月町）

▷ 相談内容 ストレスや不眠などの悩み、自死遺族に対する相談など

▷ 申込期限 4月10日

※相談には事前申し込みが必要です。

◆相談先・問い合わせ 宮古保健所保健課（☎64-2218）へ。

各種相談あります お気軽にご利用を

◎行政相談

▷ 日時 4月18日（木） 午前10時～正午

▷ 場所 町中央コミュニティセンター第2研修室

▷ 相談内容 国や県、市町村の仕事で納得できないことなど

◆問い合わせ 町町民課生活安全部（内線126）へ。

◎あすからのくらし相談会

▷ 日時 4月11日（木） 午前10時～正午

▷ 場所 町中央コミュニティセンター集会室

▷ 相談内容 くらし、仕事、日常生活での悩みに関するこ

▷ 電話相談 月～金曜日の午前10時～午後5時

◆相談先・問い合わせ あすかのくらし相談室・宮古（☎64-2400）へどうぞ。

◎被災ローン減免制度（個人版私的整理ガイドライン）無料相談会

▷ 日時 4月21日（日） 午後1時半～3時半

▷ 場所 宮古地区合同庁舎（宮古市五月町）

▷ 相談内容 私的整理ガイドライン制度（被災ローン減免制度）の説明と個別相談

※個別相談希望の方は4月19日までにお申し込みください。

◆相談先・問い合わせ 個人版私的整理ガイドライン運営委員会岩手支部（☎019-606-3622）へどうぞ。

◎自殺関連こころの相談

▷ 日時 4月11日（木） 午前10時～正午

▷ 場所 宮古地区合同庁舎1階相談室（宮古市五月町）

▷ 相談内容 ストレスや不眠などの悩み、自死遺族に対する相談など

▷ 申込期限 4月10日

※相談には事前申し込みが必要です。

◆相談先・問い合わせ 宮古保健所保健課（☎64-2218）へ。

ふる里を離れて五十
数年。ふる里がだんだん遠くなりそうで寂しいとき、広報やまだの山崎さんの名前に遠

なつかりました。毎月届く広報やまだを楽しみに開きます。誰か知っている方が載つてないかしらと思うからです。

毎月届く広報やまだを楽しみに開きます。誰か知っている方が載つてないかしらと思うからです。

ふる里へのなつかしさに

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ

〒028-1392 (住所不要)

山田町役場総務課情報係

(☎82-3111内線417)へ。

い昔がとても懐かしく思い出されます。

母を追い求め一心になつて、いるかは分かりませんが、広報やまだが遠く離れている人たちの心の支えである事に感謝すると同時に、

山崎さんが投稿してくれた広報やまだを楽し

みにしたいと思います。

みに

いた

い

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う</



佐藤美保子さん（荒川・29）

佐藤さんは力フエ
「よりあいっこ」という
事業で、仮設住宅など
で参加者と一緒に歌や
体操を行い、交流の場
を提供しています。ま
た、お買い物バス「まだづけえ
号」で利用者の生活に寄り添つ
た業務も行っています。

楽しむことを大切にしたい

「一人の力は限られていますが、少しでも町民の皆さんのがんばりたいのでこれからも長く寄り添つていきたのです」と仕事への思いを話すのは、山田町社会福祉協議会（以下、社協）に勤務する佐藤美保子さん。

佐藤さんは力フエ「よりあいっこ」という事業で、仮設住宅などで参加者と一緒に歌や体操を行い、交流の場を提供しています。また、「参加する方が私の手が冷たいからときゆつと握って温めてくれることがありました。自然にあふれ出る優しさに心でも温かくなりました」と笑顔で答えます。自身の性格をマイペースと話す佐藤さんですが、昨年盛岡市で開催された東北六魂祭にも青森ねぶた祭りのハネットとして参加するなど行動的な一面も。「楽しそうなことがあれば自ら飛び込んでいきます。震災で大

た、お買い物バス「まだづけえ号」で利用者の生活に寄り添つた業務も行っています。

仕事でうれしかったことは「参加する方が私の手が冷たい

らためて感謝の思いでいっぱいでした。

中垣のり子（船越・？）

三正月

昭和中期まで、色々な年中行事は旧暦で時期が合っていた。

三正月とは、おじいさん、おばあさんが子どもや孫たちに言つて聞かせていたことわざを思い出せば“松コで待つた大正月、笹で少つとの小正月”そして最後の正月が“杉コで過ぎたで”俗に三正月と言う。松・竹・杉と年中、青々と榮るもので門々に飾りつけ、福を呼び、悪をはらうという風習だと思う。

大正月は、元日、3日、5日と一日置きにいろんな餅を食べ、7日には鏡開きと言つて門松を納め七草粥を食べ、やがて来る春からの農作業、漁業に備えて体力をつける意味であつたろう。

変なときだからこそ、楽しむということを大切にしたい」と話します。「社協でも楽しめる事業をどんどん開催していくまでは人の笑顔だと思うので、ぜひ参加してください」と職場のPRも忘れません。

やまだ文芸広場

川風に もうすぐ春だと ねこ柳

佐藤 兼男（荒川・86）

風化せず二年過ぎしの大震災 子らに伝えよ 在りたるままを

暖かな春の息吹に誘われて 春告鳥のウグイス 花に鳴く

内館 洋一（飯岡・69）
年老て 冬のさむさが 身にしみる
庭の木に いきをもとめて すずめくる
ねこやなぎ 春がきたよと ほころびる

震災で 今だ帰らぬ 稚児を待つ
寒空に 星となりにし 消えた人

上野 ヤス子（大浦・？）
阿部 千穂子（大浦・77）
被災地の 雪よふんわり 軽く降れ

3月の あの日のあの時は 忘れない
思い出は いいことだけを 話し合う

芳賀 誠一（豊間根・72）
春の桜 サックサク
山田の幸せの春の桜 サックサク

佐藤 啓子（山田・？）
佐々木 茉祐（12）
（次号へ続く）

イラストコーナー



佐々木 茉祐(12)

おめでた・あくやみ

2月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者と性別

- ▷ 山田 及川絢菜（昂紀・女）、阿部紗也（信也・女）、佐藤大斗（誠也・男）、木戸脇葵（雄辰・女）、福士優斗（洋生・男）、眞田煌我（延幸・男）
- ▷ 船越 山田隆登（陽介・男）、佐藤玲音（純一・女）、菊池真心（真吾・女）、山崎海音（真也・男）
- ▷ 大浦 飯野日仁（健・男）、佐々木暖鈴（宏士・女）
- ▷ 大沢 大川蒼天（滋・男）、鈴木想大（嘉郎・男）
- ▷ 豊間根 刈屋柊（功・男）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

- 紺野翔吾（釜石市）・山崎純（船越）
- 浜野晴義（船越）・山崎弥生（船越）
- 佐藤秀樹（山田）・篠山理沙（後楽町）
- 杉本晃宣（境田町）・大久保晴子（長崎）

〔死亡〕（ ）は年齢

- ▷ 山田 福士政男（99）
- ▷ 船越 山屋ヨシコ（84）
- ▷ 田の浜 佐々木ハナ（90）
- ▷ 大浦 阿部武夫（78）、岡市歌子（91）
- ▷ 織笠 八木澤チャ（70）、吉家則（80）、佐々木シゲル（90）、小林平吉（83）
- ▷ 豊間根 及川之雄（88）
- ▷ 荒川 澤村忠太郎（81）

町民のうごき

（2月1日～28日）

- ▷ 出生……16人 ▷ 転入……18人
- ▷ 死亡……14人 ▷ 転出……19人
- ▷ 人口…17,183人（今月増1人）
男…8,317人 女…8,866人
- ▷ 世帯数……………6,741世帯

◆ 豊間根中学校の卒業式を取材。
義務教育を終えた生徒らの表情
は凛としており、立派な大人に
なりそうです。一方、大人の私
は仕事の終わりが見えず、表情
は「ジユン」としています。
◆ 7月に広報3年目に突入しま
すが、カメラにメモリーカード
を入れ忘れるなど、いまだに凡
ミスする私。皆さんどうか温か
く見守ってくださいね。25年度
もよろしくお願いします。

（正）



※敬称略、（ ）内は地区名・
保護者・性別です。



木村 陽斗
(豊間根・和義・男)



佐藤 愛結
(織笠・伸哉・女)



佐々木 龍矢
(船越・正隆・男)



佐藤 歩紀
(飯岡・和久・男)



佐々木 もも
(豊間根・友和・女)



五十嵐 あゆ
(大沢・翔・女)



佐々木 義仁
(大沢・恵利・男)



山田 将ノ介
(長崎・宜幸・男)



田代 綱慶
(田の浜・幸恵・男)

「彼の地へ 3・11からのメッセージ」

抽選で20名に本を差し上げます

東日本大震災を題材とした本
「彼の地へ 3・11からのメッセージ
(高橋佳子著)」を抽選で20名
に差し上げます。

▷ 申し込み方法 はがきに住
所・氏名・電話番号・年齢、
「彼の地へ」プレゼント希望と
記入し、郵送してください。

▷ 申込期限 4月12日

◆ 申込先・問い合わせ 三宝出版株式会社山田町係（〒111-
0034 東京都台東区雷門2-3-10 ☎03-5828-0600）へ。

